

平成30年度 第5回学長選考会議 議事要旨

日 時 平成30年11月20日(火) 15時00分～16時30分
場 所 鳥取大学事務局3階 第1会議室
出席者 長谷川委員(議長), 江崎委員, 永井委員, 宮崎委員, 吉岡委員,
藤井委員, 廣岡委員, 河田委員, 田村委員, 原田委員, 山中委員
欠席者 渡辺委員
陪席者 田中監事, 足立監事, 松田事務局長

事務局から, 会議の成立要件及び配付資料について確認するとともに, 前回及び前々回議事要旨(案)について各委員に事前に送付したところ意見等は無かった旨, 説明があった。

議 題

1. 次回学長候補者選考に向けた課題の検討

前回までの会議で完了した次期学長候補者の選考に係る次回学長候補者選考に向けた検討課題について, 資料に基づき説明の後, 以下のとおり意見交換を行った。

<委員からの主な意見>

①意向調査について

- ・ 学長候補者に学内の意向を示す手段でもあるので, 意向調査は必要だと思う。
- ・ 選考候補者が1人の場合に, 意向調査を実施する意義が不明瞭である。例えば投票率が最低でも何%以上必要等の規定があれば分かりやすい。
- ・ 意向調査の結果については学長選考会議が判断するものだ。選考候補者が1人でも, 仮に投票率が低くても, それを元に学長選考会議が考えればよい。
- ・ 選考候補者が1人しかいない場合は, 「投票しても仕方がない」と考えて敢えて投票しない者が今後増加すると思われる。仮に投票率が低かった場合, それがその者の評価なのか, 単に関心が低いのか, 学長選考会議としては判断が難しくなるので, 選考候補者が1人の場合に意向調査を行うことについては疑問がある。
- ・ 投票しやすいように, スマートフォン等を活用してはどうか。
- ・ 学長候補者として不適格な者が推薦される場合も考えられるため, 選考候補者が1人でも意向調査は実施したほうが良い。ただし, 投票の方法について, 今回は選考候補者の氏名を記載する必要があったが, もう少し工夫したほうが良い。

②選考候補者の人数について

- ・ 大学全体の経営・管理に関わる経験を積ませる等, 学長候補者となりうる者(複数名)を計画的に育成することについて考える必要があるのではないか。

③所信表明演説会について

- ・ 所信表明演説会がないと、選考候補者がどういう人物か分からない。意向調査を実施するという前提で、所信表明演説会は続けるべきだと思う。
- ・ 今回のように13時50分からの開催だと、病院教職員は参加できる者が非常に限られる。後日WEB配信されたがライブ感も非常に重要なので、病院教職員も参加できる時間帯に開催していただくことを希望する。

④投票所の受付時間について

- ・ 9時から15時までの時間帯だと病院教職員は診療時間との兼ね合いで投票に行けない。(ただし、不在者投票でカバーできる。)
- ・ スマートフォン等で投票することも検討していただきたい。

⑤投票所における立会人等の人数について

- ・ 立会人等の人数は削減しても良い。

⑥学長候補者選考全般に係る意見

- ・ 規則について全体的に見直しの必要があるのではないか。
- ・ 所信表明演説会の導入により生半可な気持ちでは候補に立つことができなくなったという意見もあり、今後も複数名の選考候補者が得られるか疑問だ。今後じっくり考え直す必要がある。
- ・ 学外委員としては、書類や1回の面談だけでは判断できない。ある程度の期間、経営協議会等の場で選考候補者の人物を判断できる機会があると良い。

2. 現学長の職務の評価

事務局から資料に基づき、現学長の職務の評価方法に関するこれまでの議論を踏まえて作成した「鳥取大学長職務評価実施要項(案)」及び具体的な評価実施日程・方法等について提案があり、審議し承認した。

また、現学長に対して、評価を実施する旨を文書により通知することとした。

報 告

1. 今後のスケジュール

事務局から資料に基づき、今後の学長選考会議開催予定について、説明があった。